

この度はデジタル三点マイクロメータシリーズをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みいただき正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

特長

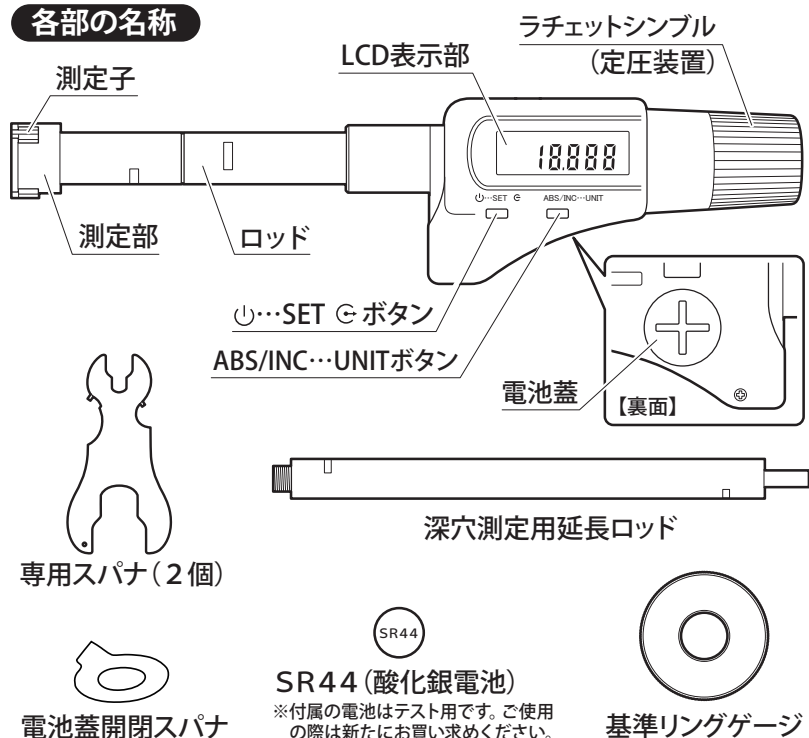
- デジタル表示で見やすく、読み取り間違いがありません。
- 内径を3点で測定するため、より精度の高い測定が可能です。
- 継ぎ足して使用できる「深穴測定用延長ロッド」付属で、より深い箇所での測定も可能です。
- すぐに使える0点設定用「基準リングゲージ」付属
- 定圧装置付

仕様

- 最小読取値:0.001mm
- 本体材質:高炭素クロム軸受鋼
- 電源:SR44 (酸化銀電池) ※テスト用1個付属

品番	測定範囲 (mm)	最大許容誤差 (μm)
MCD3385-0608HT	6- 8	4
MCD3385-0810HT	8- 10	
MCD3385-1012HT	10- 12	
MCD3385-1216HT	12- 16	
MCD3385-1620HT	16- 20	
MCD3385-2025HT	20- 25	
MCD3385-2530HT	25- 30	
MCD3385-3040HT	30- 40	5
MCD3385-4050HT	40- 50	
MCD3385-5063HT	50- 63	
MCD3385-6275HT	62- 75	
MCD3385-7588HT	75- 88	
MCD3385-87100HT	87-100	

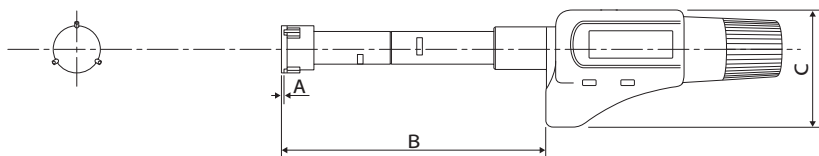
各部の名称



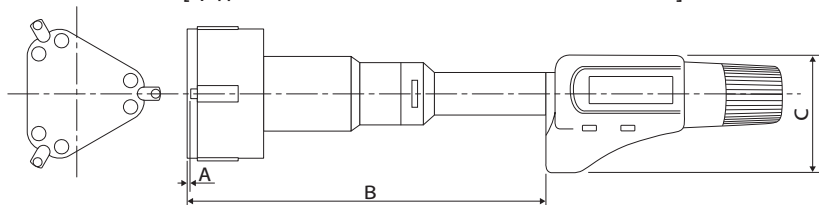
寸法図(単位:mm)

品番	A	B	C	D
MCD3385-0608HT	2以下	85	43	100
MCD3385-0810HT				
MCD3385-1012HT				
MCD3385-1216HT	1以下	100		150
MCD3385-1620HT		105		
MCD3385-2025HT		110		
MCD3385-3040HT		110		
MCD3385-4050HT	127	127	150	
MCD3385-5063HT				
MCD3385-6275HT				
MCD3385-7588HT				
MCD3385-87100HT				

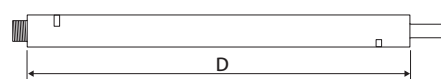
[本体:MCD3385-0608HT ~ MCD3385-4050HT]



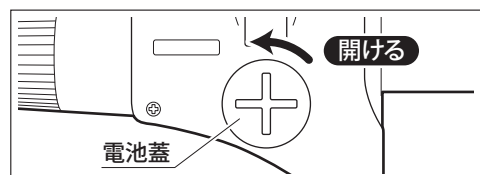
[本体:MCD3385-5063HT ~ MCD3385-87100HT]



[深穴測定用延長ロッド]



電池の入れ方



- ① 本体裏面の電池蓋を、矢印の向きに付属の電池蓋開閉スパナなどで回して開けます。
- ② 電池を、必ず(+)側を表にしてセットしてください。
- ③ 電池蓋を元通りに装着してください。

⚠️ ご注意

電池は必ずSR44をお使いください。

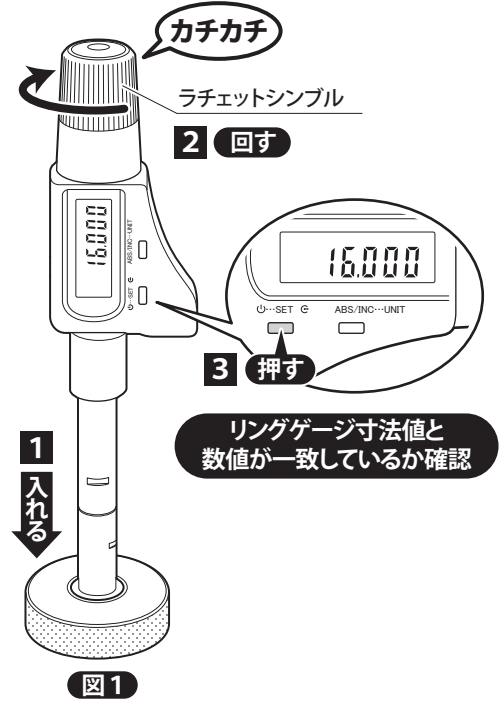
原点の設定

通常測定で使用する原点を設定します。
この原点は電源をOFFにしても記憶されているので、毎回設定し直す必要はありません。
電池交換後はリセットされますので、再度設定し直してください。

- ①測定子を含めた測定部と、基準リングゲージの内径をパーツクリーナーなどの洗浄剤で洗浄します。
- ②“**U**…SET **G**”ボタンを押して、電源を入れてください。
- ③“**U**…SET **G**”ボタンを3秒以上長押しし、離すとLCD表示部の「Set」の文字が点滅します。
ここで、LCD表示部の数字とリングゲージに表示されている寸法値とが一致していることを確認してください。
一致していない場合は、下記の手順で合わせてください。

「Set」の文字が点滅している状態で、“**U**…SET **G**”ボタンを長押しすると、点滅位置が変わります。
点滅している位置で、一度“**U**…SET **G**”ボタンを離し、再度短く押すと数字が変わります。これを繰り返して、リングゲージに表示されている寸法値に数値を設定したら、点滅位置を「Set」に戻してください。

- ④測定部をリングゲージに入れ、ラチェットシンブルを持って回します。
測定子とリングゲージの内径が接触し、ラチェットシンブルが『カチカチ』と鳴ったところから1～3回転させたところで停止してください。 **図1**
- ⑤“**U**…SET **G**”ボタンを押してください。
LCD表示部の「Set」の点滅が消え、リングゲージに表示されている寸法値とLCD表示部の数字が一致していれば、原点設定の完了です。

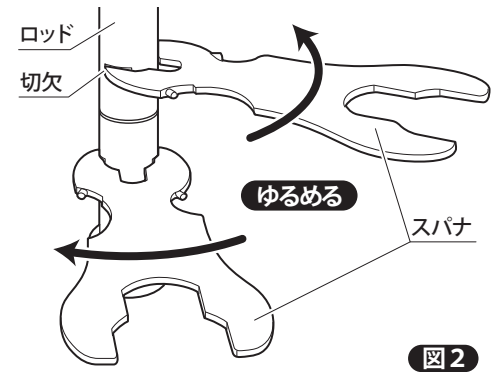
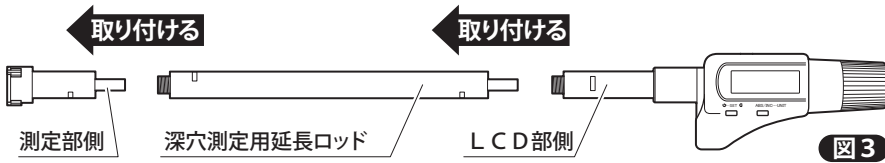


リングゲージ寸法値と数値が一致しているか確認

深穴測定用延長ロッド

深穴測定用延長ロッドを使用する場合は、必ず専用スパナを2個使用し、下記の手順で取り付けてください。

- ①付属の専用スパナをロッドの切欠に差し込んで回し、ロッドを「測定部側」と「LCD部側」に分離させてください。 **図2**
- ②ロッドの「測定部側」と「LCD部側」の間に深穴測定用延長ロッドを取り付け、専用スパナで締めてください。 **図3**
- ③上記『原点の設定』に従って、原点を設定してください。



使用方法

- ①測定子を含めた測定部を脱脂し、グラスペーパーなどで拭き取って異物が付着していない状態にしてください。
- ②“**U**…SET **G**”ボタンを押して、電源を入れてください。
- ③“ABS/INC…UNIT”ボタンを押し、「ABS」を表示させてください。
- ④測定部を被測定物の内側に入れ、ラチェットシンブルを持って回します。測定子と被測定物の内径が接触し、ラチェットシンブルが『カチカチ』と鳴ったところから1～3回転させたところで停止して、LCD表示部の数値を読み取ってください。

モード

“ABS/INC…UNIT”ボタンを押すことで、原点を維持したまま表示をゼロリセットすることができます。
原点からの測定値に戻りたい場合は、再度“ABS/INC…UNIT”ボタンを押してください。

トラブルと対応

トラブルの内容	対応策
測定値が間違っている	<ul style="list-style-type: none"> ●測定面の汚れをグラスペーパーなどで拭き取ってください。 ●原点が合っているか確認してください。→『原点の設定』参照
測定子が戻らない	<ul style="list-style-type: none"> ●低温で使用したり、しばらく使用していないと、内部のグリスが馴染んでいない可能性があります。十分温度慣らしを行ってください。 ●手袋を着用し、手で押し込んでください。
<ul style="list-style-type: none"> ●LCD表示部に何も表示されない ●表示が安定しない ●表示が不明確である 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を入れ直してください。 ●新しい電池と交換してください。

※症状が改善されない場合や不明な点がございましたらお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。
※お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接発売元に修理品などを送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。

ご注意

- ご使用前に、必ずグラスペーパーなどで測定子の汚れを除去してください。
- 測定範囲の上限を3mm以上上回ってスピンドルを回さないでください。
- 精密機器ですので、落としたりぶつけたり、強い力を加えたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車の中、火のそばなどでの使用、保管はしないでください。
- 水や油のかかる場所で使用しないでください。
- 分解・改造をしないでください。
- 使用後は柔らかい布などでゴミや切粉などを取り除き、防錆油を塗布してお子様手の届かない場所へ保管してください。
- 1か月以上ご使用にならない場合は、本器より電池を取り外して保管してください。電池の液漏れで本器を破損する恐れがあります。
- 本体の手入れに有機溶剤を使用しないでください。
- 用途以外のご使用は、事故やけがの原因となりますので絶対におやめください。